

# 平成30年度決算の概要



名古屋高速道路公社



## 目 次

◆ 平成30年度決算のポイント .....	1
◆ 平成30年度損益計算書の概要 .....	2
◆ 平成30年度貸借対照表の概要 .....	3
<参考資料>	
◆ 会計処理の特徴 .....	4

## ◆平成30年度決算のポイント



■平成30年度決算のポイントは、以下のとおりです。詳細は、次ページ以降をご覧ください。

- ① 道路料金収入は、交通量の増加により、前年度から17億円増加し、774億円となりました。
- ② 道路管理費は、前年度から34億円増加し、363億円を充てました。  
大規模修繕、東山トンネル天井板撤去、ETC関連機器の更新などを実施しました。
- ③ 償還準備金繰入(借入金の返済に充てた額)は、前年度から11億円減少し、319億円を繰り入れました。  
償還準備金(償還準備金繰入の累計額)は、前年度から319億円増加し、6,853億円となりました。

# ◆ 平成30年度損益計算書の概要



(単位:百万円)

費用の部					収益の部				
勘定科目	30年度	29年度	前年度比		勘定科目	30年度	29年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
事業資産管理費	37,311	33,893	3,417	110.1	業務収入	78,102	76,422	1,680	102.2
道路管理費 (内消費税納付金)	36,271 (3,237)	32,852 (4,492)	3,419 (△1,255)	110.4	道路料金収入	77,389	75,739	1,650	102.2
貸倒引当金繰入	+0	0	+0	皆増	マイレージ還元負担金収入	609	616	△7	98.8
マイレージ還元負担金	1,039	1,042	△2	99.8	マイレージ引当金戻入益	4	2	2	177.8
一般管理費	1,955	1,925	31	101.6	業務雑収入	99	64	35	155.4
業務外費用 (内借入金利息)	7,089 (6,904)	7,711 (7,522)	△622 (△617)	91.9	業務外収益	135	102	33	132.8
小計(管理費用)	46,355	43,529	2,826	106.5					
償還準備金繰入	31,881	32,994	△1,112	96.6					
合計	78,237	76,523	1,713	102.2	合計	78,237	76,523	1,713	102.2

(注)端数処理の関係上、計及び比率(A/B)において合わないことがあります。

- 収益の状況…○ 収益の総額は782億円で、そのほとんどがお客様からの道路料金収入となっています。
  - お客様からの道路料金収入は、前年度から17億円の増加となりましたが、これは交通量の増加によるものです。
  
- 費用の状況…○ 費用の総額は、782億円であり、主なものは、道路の維持補修や料金収受などに要した道路管理費363億円(消費税納付金含む。)、業務外費用(借入金利息など)71億円及び借入金の元金返済に充てた償還準備金繰入319億円となっています。
  - 道路管理費は、前年度から34億円の増加となりましたが、これは修繕費の増加によるものです。
  - 償還準備金繰入は、収益・費用の状況により、前年度から11億円の減少となりました。

# ◆ 平成30年度貸借対照表の概要



(単位:百万円)

資 産 の 部					負 債 及 び 資 本 の 部				
勘 定 科 目	30年度	29年度	前年度比		勘 定 科 目	30年度	29年度	前年度比	
	A	B	A-B	A/B(%)		A	B	A-B	A/B(%)
流 動 資 産	18,118	12,706	5,412	142.6	流 動 負 債	99,330	96,357	2,974	103.1
現金・預金など	9,512	4,610	4,902	206.3	1年以内返済予定長期借入金※	78,298	81,582	△ 3,283	96.0
未収金	8,607	8,097	510	106.3	未払金など	21,032	14,775	6,257	142.3
貸倒引当金	△0	△0	△0	368.2	固 定 負 債	593,399	621,830	△ 28,432	95.4
固 定 資 産	1,676,859	1,675,736	1,124	100.1	名古屋高速道路債券※	401,000	398,000	3,000	100.8
道 路	1,674,293	1,673,632	661	100.0	政府借入金※	87,974	104,906	△ 16,932	83.9
道路建設仮勘定	1,792	1,224	568	146.4	県・市借入金※	77,362	91,979	△ 14,617	84.1
有形固定資産など	775	880	△ 105	88.1	長期借入金など※	18,916	18,825	90	100.5
繰 延 資 産	999	991	8	100.8	退職給与引当金	872	841	31	103.7
					ETCマイレージ引当金	253	257	△ 4	98.4
					資産見返交付金	7,022	7,022	0	100.0
					特別法上の引当金等	685,285	653,403	31,881	104.9
					償還準備金	685,285	653,403	31,881	104.9
					基本金(県・市出資金)	317,963	317,843	120	100.0
資 産 合 計	1,695,977	1,689,433	6,543	100.4	負 債・資 本 合 計	1,695,977	1,689,433	6,543	100.4

(注) 端数処理の関係上、計及び比率(A/B)において合わないことがあります。

- 資産の状況…○資産の総額は1兆6,960億円となっています。このうち道路資産は1兆6,743億円であり、資産全体の99%を占めています。
- 負債及び資本の状況…○負債及び資本の総額は1兆6,960億円であり、主なものは、道路債券を含む借入金6,636億円※、元金返済に充てた償還準備金6,853億円、設立団体の愛知県・名古屋市からの出資金3,180億円となっています。  
○建設に要した借入金につきましては、全額、お客様からの料金収入で返済していくものです。

## ◆ 会計処理の特徴



- 当会社では、企業会計原則に準じた会計処理を行っていることにより、財政状態や経営成績が明らかになっております。
- 有料道路事業は、出資金・借入金により道路を建設し、お客様からの料金収入により返済していくものであり、全ての返済を終えると、本来の道路管理者に引き渡すことになっていることから、借入金が着実に返済されているかどうかを会計処理において適切に把握することが重要です。
- 「道路資産」においては、企業会計上一般に採用されている減価償却費を計上しておりません。
- 借入金の返済に充てた年度の「収支差」(収益と費用の差)を「償還準備金繰入」として費用に計上し、その累計額を「償還準備金」として貸借対照表の負債の部に計上しています。
- 「道路資産」の額と「償還準備金」の額の対比により、道路に投下した資金の償還状況がわかるしくみになっています。